

情報発信中



hayakawa\_cc



hayakawacc



立憲民主党 党員募集中

詳しい内容の確認及び申し込みはQRコード  
または問い合わせ先よりご連絡ください。



後援会員募集中

一緒に早川たかみつを育てる仲間を募集中です。申し込みはQRコード、または問い合わせ先よりご連絡ください。市内外問わず、政治に興味があるといった方も気軽にご参加下さい。



ご寄付のお願い

早川たかみつの政治活動を精力的に行うための活動費のカンパを受け付けております。詳細は申し込みQRコード、または問い合わせ先よりご連絡ください。



【振込先】

足利銀行 佐野支店 130

普通 5072343

早川たかみつを育てる会

寄付に関するご留意点

- ・政治資金規正法により、外国籍の方からの献金、および、匿名での献金は禁止されております。
  - ・同一の後援会に対する個人献金の年度額は、150万円です。
  - ・政治資金規正法により、年間50,000円を超えた額を寄付されますと住所・氏名・金額・職業・寄付をした日付が選挙管理委員会あての収支報告に掲載され、開示されます。
  - ・寄付が可能な方は、日本国籍をお持ちの方に限られます。
- ※ご不明な点はお問い合わせ先からご連絡ください。

佐野市議会議員  
早川たかみつ  
政務活動報告書 VOL.1

発行・編集

早川たかみつを育てる会

<https://takamitsu.jp>

お問い合わせはこちら

080-2227-1693

[info@takamitsu.info](mailto:info@takamitsu.info)

1.ごあいさつ..... p.1

活動報告について

2. 議会活動報告..... p.2

3. 政治活動報告..... p.3

公約や政策について

4. 公約・政策の進捗状況..... p.4-5

5. 主要政策の見直し..... p.6-7

特集:市議の仕事内容

6. 質問質疑の作り方..... p.8

7. 議員の生活サイクル..... P.9



新人議員同期との写真左から横井議員、小倉議員、私、慶野議員

日頃より、早川貴光の政治活動をご支援いただき誠にありがとうございます。また、はじめて私を知っていただいた方、あるいは政治に興味を持ってくださった皆様、お読みいただきありがとうございます。

さて、佐野市議会議員となりすでに3年、任期の3/4が経過しました。この間、色々な事がありました。特に、2019年に東日本を襲った台風19号は佐野市でも甚大な被害に見舞われました。災害の傷跡は未だ残ったまま、復興は道半ばの状態です。

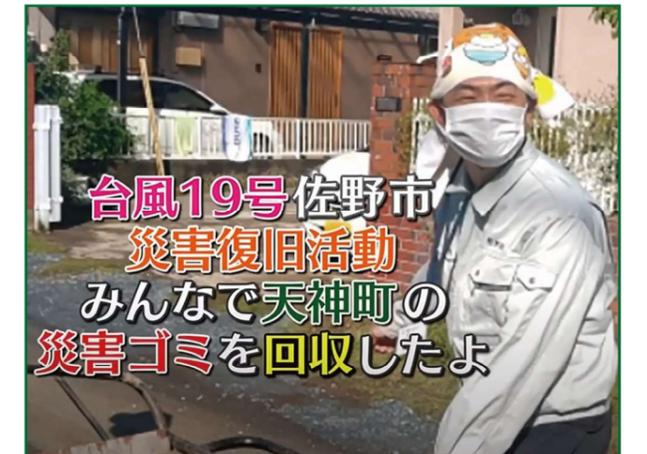
さらに2020年は、新型コロナウイルスの影響により、人にも経済にも多大な影響が出ています。こんな時だからこそみなさんが安心して生活できるように、社会保障などに目を向け機能しているかを確認することはもちろんですし、議会を通して自治体としての役割を果たすよう促していかなくてはなりません。私自身は議会活動を中心に様々な事一所懸命に「自分に今できる何かを模索しながら」活動してきました。

一方で、台風被害の影響や、このコロナ禍等により、支援者カードにお名前を書いて頂いたすべての方に直接自分の活動を伝えることができませんでした。そこで今回、議員活動、党務、後援会活動の一端をお伝えするために政務報告

書を作成いたしました。「議員は普段なにをしているのか?」「議員になるまえに公約として掲げた約束をどこまでやっているのか?」を分かりやすくお伝えすることで皆様と政治との距離をさらに縮めていきたいと考えています。

「早川たかみつが仕事をきちんとしているか?」を確認する為には、他の議員と比較する事も必要かと思えます。この政務活動報告書がその一助となれば幸いです。

また支援して下さる皆様にお礼があります。私自身もっと成長していくためには皆様の「声」が非常に大切です。私は「声」を形にして議会に届ける、あるいは、姿勢について皆さんが疑問に思う事を分かりやすく説明することで議員として成長できると考えています。



YouTubeチャンネルを新規に設立。災害復旧活動の動画を収録

ぜひ、今後とも困りごとや市に対するご意見をお聞かせください。私もその声を受け止めて皆さんと共によりよい佐野市になるよう不断の努力を積み重ね、皆様と共につなぐ未来の架け橋となるよう今後とも活動してまいります。

佐野市議会議員

早川 貴光



### ▼ 議会活動データ



市議会議員としての活動は、議会での活動や、地域の問題解決に向けての取り組み、私自身の支援を広げるための後援会活動といったように多岐にわたります。当然全てにおいて関連性もあるため、分類しにくいのですが、議会での活動を中心に見える化を試みました。今後もこの政務活動報告書の冊子で報告を続けたいと思います。

議会活動データは、自己評価も含めて目標回数に達した活動はもとより、結果を出せた活動項目に対してオレンジ色で表記しています。また、今後の検討課題として、次年度の補強すべき活動項目については水色で表記しています。

#### 評価POINT

##### ・一般質問や各種委員会について

全ての議会で質問してはいませんが、質問によってIT関連の分野で特に成果を上げました。P.6から全体的に取り組んだ内容は確認できます。ホームページのリニューアルや、今後公式LINEの運用を開始するといった部分は貢献できたと思っていますし、広報に関する重要性を市側に認識してもらえたと思います。今後も他の議員にない得意なITを利用した政策等については市側に積極的に働きかけていきたいと考えています。

#### 改善POINT

##### ・決算／予算審査特別委員会について

議員になる前の予算をもとにした決算審査のため2017年9月議会の決算審査特別委員会では質疑を見送りました。以降は特に自分の得意分野で質疑をしています。現在取り組み中ですが質疑事項をあらかじめ見せる事で最低でも前日には公表し定期的に発信するように努めます。

##### ・勉強会／研修会への参加

まだまだ、様々な分野に対する知識が不足しています。今後積極的に参加します。

特に一般質問においては初めて行った2017年の9月議会での質問は、市の広報の重要性、正しく最新の情報をいかに多くの人に見てもらえるかといった点を強く訴えました。その結果、ホームページ更新事業として2000万円の予算が生まれ、2019年の12月にはホームページのリニューアルに繋がりました。まだまだ改善の余地がありますので今後も継続して取り組みます。

また、台風19号による被災の影響や、新型コロナウイルス感染症対策による、様々な制限が続いており、行政視察や、勉強会などは制約が多い状況ではありますが、オンライン勉強会などを通じて積極的に取り組みたいところです。

### 政治に関心をよせていただけるように



若者おしゃべりカフェの様子 立憲民主党のおしゃべり会議

若者への政治参加へのアプローチの仕方を学ぶために市外・県外から応援していただいている支援者の方が行ったイベントのお手伝いしました。そのノウハウを活かして、地元では市政交流会を開くこともできました。今後、積極的に開催していきます。新たな取り組みとして政治活動での学生インターンの受け入れ等も検討します。

### 働く仲間のためにできたこと。



支援団体の学習会で講師役 派遣かふえで一緒にした石橋議員

支援団体の連合や支援労組の勉強会に講師として、シンポジウムにはパネリストとして参加させていただきました。その他独自の取り組みとして、派遣労働者の様々な問題を考えるイベント「派遣かふえ」を主催者さんとの関係を構築し、参議院議員石橋みちひろさんと共に問題解決に向けて取り組むきっかけ作りを行いました。

### 今の国政を変えるためにできたこと。

2019年の参議院選挙では、栃木選挙区の加藤ちほさんを応援し、辻元清美代議士の応援演説の司会を務めさせていただきました。結果は惜敗となりましたが、多くの方からご支援をいただきました。ありがとうございました。

支援者や政治に興味がある人を募り、参議院議員吉川さおりさんをお願いし少人数の国会見

学ツアーを開催しました。参加者からは好評で今後も実施したいと考えています。



参議院議員選挙で辻元議員と共に 吉川議員と行く国会見学ツアー 加藤ちほさんを応援

### 応援してくれるみんなと共になれたこと

立憲民主党のパートナーズの依頼を受け、ネット生配信に参加、党大会の立憲フェスでは枝野代表をはじめ国会議員や支部長、地方議員へのインタビュアーをする役割を担うなど積極的に活動し、テレビでも取り上げられ全国放送されました。その他政治系YouTuber番組にゲスト参加をしました。



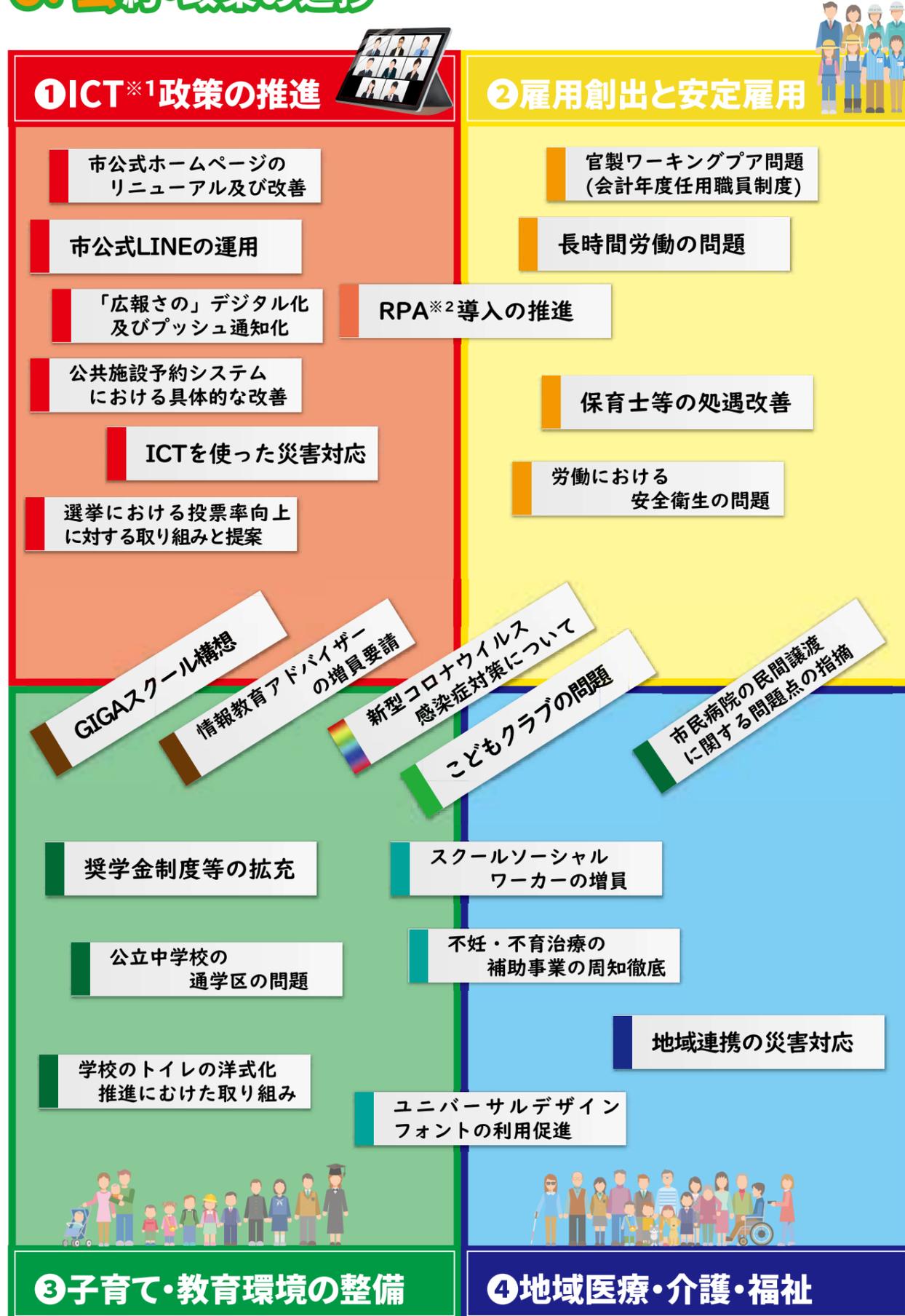
全国ネットで放送もされた枝野代表 政治家娘YouTuberみこちゃんねるへのインタビュー企画 にゲスト出演し佐野市をPR

### 地元地域のためにできたこと。

昨年の台風19号の災害の際には情報発信をTwitter上で積極的に行い、5人の安否を確認、お一人を救助できました。さらに地元町会との連携と協力により、被災した家屋を訪問し状況の把握を徹底し、早期の復旧に繋がりました。また、支援団体をはじめ、県外からも多くの方にボランティアとして協力いただきましたこと、改めて感謝申し上げます。



参議院選挙に出馬した原田謙介さん 台風が去った直後の大橋町の中橋が崩落。現在復旧作業中



## 「公約・政策の進捗を確認する」

議員になる前に掲げた4つの主要政策に対し、議会を通じて取り組んだ具体的な内容を付箋で貼ってみました。付箋は、一般質問や、予算決算特別委員会、各常任委員会等で取り上げた主な内容をピックアップしています。ここでは、それぞれの主要政策別に取り組んだ内容や成果などについて振り返ります。

### 1. ICT(情報通信技術)を利活用した政策の推進

特に注力した分野です。初めての一般質問でも取り扱った広報戦略の中でも、市ホームページの問題を取り上げ、サイト内のリンク切れや、検索サイトで検索したページが存在しないといった不備や、障がい者の方が利用しにくいなどの事実を調査し指摘しました。また、総務省からの通知を含めて根拠を示したところ、予算が計上されました。結果、2019年12月にホームページがリニューアルされましたが、今後もさらなる改善のため、引き続き取り組みます。現在はLINEを使った情報発信事業を早期に開始できるよう取り組んでいます。もちろん、ICTの利活用だけでは全ての人に情報を届ける手段としては完全とは言えません。ICTを通じて得た情報を拡散させる地域コミュニティの充実も必要です。

### 2. 雇用創出と安定雇用

主に官製ワーキングプアの問題と、保育士等の処遇改善、こどもクラブの質の確保等を中心に取り組みました。また2019年の台風19号被災時には市職員の数に対して業務量が許容範囲を超えており、他自治体の職員の応援がなければ行政の役割を果たすのが難しい状態でした。このことから、以前にも議会でも取り上げた職員

の業務負担を軽減できるRPA※2導入の必要があると考えます。局地的な災害時は、各自治体に助けを求めることもできますが、今回の新型コロナウイルス感染症対策のようなケースではどの自治体でも人手が足りないといった事態になるかもしれません。ただし、民間委託ばかりに依存しない工夫が必要です。

### 3. 子育て・教育環境の整備

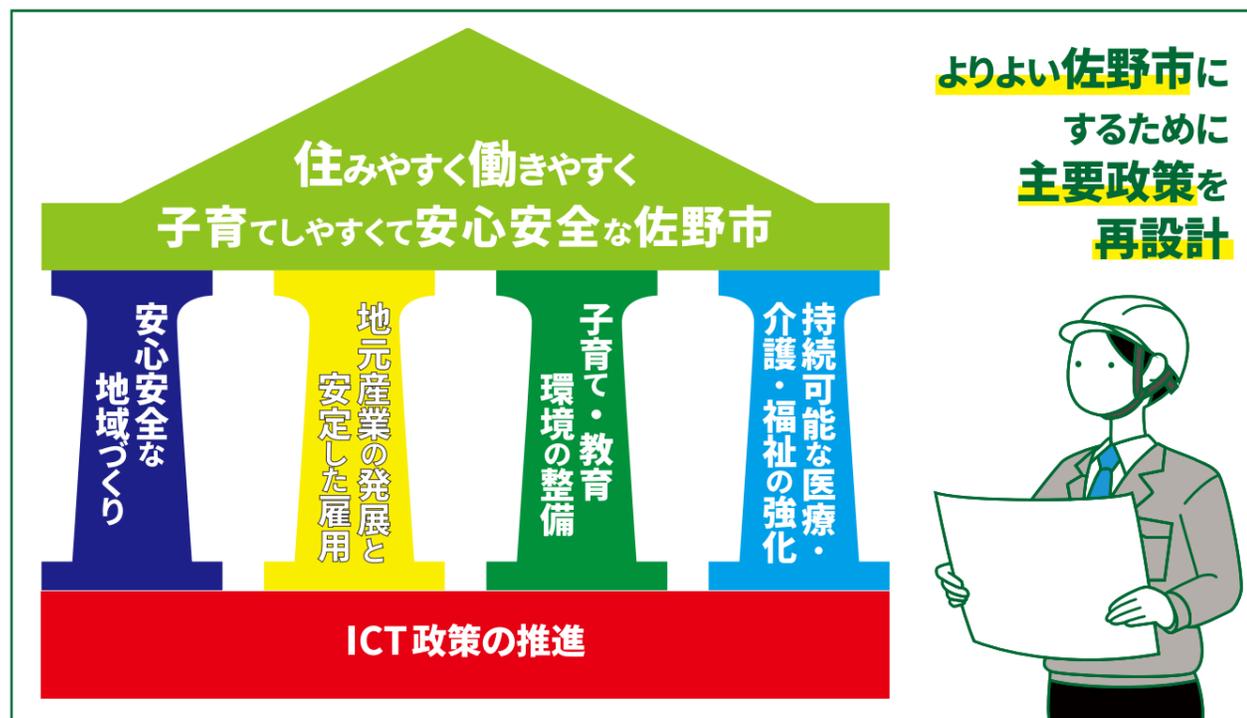
当初の公約としていた学校のトイレの洋式化については私も委員会で取り上げました。多くの議員の働きかけの結果、大きく改善しました。近くの学校に通えない通学区の問題は今後小中一貫校に変わっていく中でも、継続して取り組まなければいけない課題です。現場の声を伺い取り組む必要があります。その他、現在のコロナ禍の状況では、スクールソーシャルワーカーの増員は成果の一つと言えます。今後は学ぶ権利の保証といった観点から、学校が休校せざるを得ない場合でも勉強することのできるオンライン学習の充実を図っていきたいと考えます。

### 4. 地域医療・介護・福祉

佐野市民病院の民間譲渡の際には、看護師などの退職が相次ぎ、民間移行時に病棟の一部を休棟するといった問題が発生しました。また、不当労働行為の救済申し立てがありそのことについても議会で質しました。不当労働行為については最終的には和解が成立しましたが、現在のコロナの影響で医療・介護・福祉といった分野は人的にも金銭的にもひっ迫している状況と言えます。今後も注視しながら市民の命を守るための課題に取り組み続けます。

※1 ICT…Information and Communication Technology(情報通信技術)の略で、通信技術を活用したコミュニケーションを指します。情報処理だけではなく、インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスなどの総称。

※2 RPA…Robotic Process Automation / ロボティック・プロセス・オートメーションの略語で、ホワイトカラーのデスクワーク(主に定型作業)を、パソコンの中にあるソフトウェア型のロボットが代行・自動化する概念。



## 4つの政策分野から5つの政策分野へアップデートします!

これまで①ICT政策の推進、②雇用創出と安定雇用、③子育て・教育環境の整備、④地域医療・介護・福祉の4つの政策分野を重点に活動してきました。その中で、政策は相互に関係していることも分かってきました。例をあげると、保育士の処遇改善は③子育て・教育環境の整備にカテゴライズされますが、②雇用創出と安定雇用の問題とも密接に関わっています。そういった点からもそれぞれ政策分野には並行して取り組むことが必要であると改めて感じています。そこで、これまでの活動と佐野市の状況から、主力の政策として位置づけるべく新たな「安心安全な地域づくり」を追加し、次の5つの政策分野に取り組んでいきたいと考えます。

### メイン政策はICT政策の推進

ICTの利活用は、あらゆる政策分野の施策の実施に必要な情報の把握、効率かつ適切な事業に不可欠なものとなっています。行政においても、単純作業かつ機械で出来るところは出来るだけ機械に。

新しい最終的な判断や人と接するコミュニケーション、熟練の技術が必要な仕事、新しい事業や開発などに人材を集中させることで、これからの人口減少時代にも行政の質を保つことに役立つと考えています。議会活動を行う中で、過去の仕事や社会経験を通して培ったITやICTの知識は議会の中にあっても私の一番のストロングポイントであることを実感しました。行政の現場と時代に寄りそうICT政策への取り組みを続けていきます。

### 新たに安心安全な地域づくり

新しい政策分野として掲げました。2019年の台風19号の被災、そして2020年に入っては新型コロナウイルス感染症の影響による甚大な被害をなお受け続けている状況です。被災を経験し、情報発信手段の進歩の利点の一方で、お互い様に助け合い、情報共有ができる地域コミュニティの重要性を改めて感じました。具体的な例を挙げると、佐野市では自主防災組織の設立を町会に促していますが、残念ながら支援が十分とは言えません。

突如として襲ってくる困難に対応すべく、防災は

もちろんのこと減災の視点の強化、交通事故防止や防犯対策にも取り組むことで、安心安全な地域づくりを推進します。また、例え自然災害があっても、新型コロナウイルス感染、交通事故、犯罪被害などにあっても、負担をできるだけ軽くする施策などを通し、同じ場所に安心して暮らせる佐野市をつくる取り組みを行っていきます。

### 地元産業の発展と安定した雇用

佐野市は観光立市を掲げた経済・産業政策を推進し、またインバウンド誘致にも力を入れています。しかし新型コロナウイルス感染症により、これらの施策は苦境に立っています。一方このコロナ禍で需要が高まっているのは物流関係の産業です。佐野市ではインランドポート事業が開業し、現在のところ好調のようです。その時々状況を注視しながら、徐々に観光立市とインバウンド推進への偏重の是正も検討しなければならないと考えます。なお、この項目は従来「雇用創出と安定雇用」としていましたが、安定した雇用にはしっかりとした産業がなければ成り立たないという観点から、文言を修正しました。

### 子育て・教育環境の整備

佐野市は今後小中一貫校とした義務教育学校を各学校区で進めていきます。現在も取り組んでいる通学区の問題も引き続き取り組んでまいります。また現在は新型コロナウイルスの影響により、今までと同じような学習環境が用意できていないとは言えません。教育委員会でも様々な取り組みをしていますが、根本的な解決には至っていません。一方、政府は長引く休校を在宅オンライン学習で補うことも視野に、GIGAスクール構想<sup>※1</sup>の前倒しを決定しました。GIGAスクール構想は教育とICT利活用のコラボレーションとも言える事業ではあるものの、私はあくまでもこれは一時的な代替手段として活用すべきものであり、GIGAスクール構想によって本来の学ぶ権利がすべてフォローされるもの

ではなく、議会でもしっかりと議論が必要と考えています。

### GIGAスクール構想<sup>※1</sup>とは?

1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現する。また、これまでの我が国の教育実践と最先端のベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す。(文部科学省GIGAスクール構想の実現へより引用)

- 【調べ学習】  
課題や目的に応じて、インターネット等を用い、様々な情報を主体的に収集・整理・分析
- 【表現・制作】  
推敲しながらの長文の作成や、写真・音声・動画等を用いた多様な資料・作品の制作
- 【遠隔教育】  
大学・海外・専門家との連携、過疎地・離島の子供たちが多様な考えに触れる機会、入院中の子供と教室をつないだ学び
- 【情報モラル教育】  
実際に情報・情報技術を活用する場面(収集・発信など)が増えることにより、情報モラルを意識する機会の増加

保育園やこどもクラブ(学童保育)の待機児童(保育留児童)問題も改善はされてはいますが、解消までは至っていません。少子化問題を少しでも緩和するためには、子どもを産み育てたいと思う方々の出産環境や育児環境をしっかりと整えていくことが必要です。こういった観点も含めて今後も取り組みます。

### 持続可能な医療・介護・福祉の強化

医療や介護、福祉の環境は、安心して暮らせる街作りとは不可分の課題です。しかし新型コロナウイルス感染症の流行により、医療・介護・福祉の現場では、医療従事者や介護職員の皆さんへの負担も大きくなっています。現場では多くの人が厳しい労働環境でその重要な現場を支えており、持続可能な体制づくりにはより手厚い支援が望まれます。多くのルールは国によって決定されますが、佐野市の医療・介護・福祉の状況を踏まえ、必要に応じて臨時交付金などの活用も含めたきめ細かい公的フォローを提案して行きます。

# 6. 質問・質疑の作り方

様々取り組んだ政治活動を報告します

## 一般質問とは？

議員個人が市の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を市長などに求め、市が市民のための適切な市政運営を進めているかを議員がチェックするものとされています。質問方法は、効率的な議会運営を目的に、質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」を採用し、議員はその内容に添って質問します。なお佐野市は議員一人一人が毎回質問することができ、原則60分間の時間内で質問をしたり答弁を聞くことができます。

## 一番最初にすること。

実は様々な方法があります。①市の事務の執行状況を調べる②市民からの困りごとを聞く、③国の方針に対して市が不足している、不備がある部分を調べる。大まかにこんな感じになります。①はもっと簡単に説明すると計画通りに仕事をしているのか調べて問題がみつければ質問します。②に関しては、実際に困っている市民に対して佐野市としてどういったフォローができるかを問い、場合によっては提案する。③に関しては国の政策方針と佐野市の政策を見比べて遅れている部分を見つけて質していくといった形です。

## 質問原稿をつくる前にすること。

ここが一番大切なポイントになりますが、過去の市議会での一般質問や会議の発言を総当たりで調べます。過去に同じ質問がされていないか、されていたら、その答弁を踏まえてさらに踏み込んだ質問を作りこむといった作業が必要になります。同じ質問をただ繰り返してしまっただけでは貴重な時間もったいないですし、勉強不足と言われてしまいます。先人の軌跡を踏まえた上で質問には臨まなくてはなりません。

さらに他の自治体で同様の質問がなされ、先行して取り組む事例や、国が好例として事例を公開している場合もあるため、そういった資料も読み込みながら、内容をブラッシュアップしていくことで、よりよい質問とすることができます。

前述したように、一般質問は原則60分です。もちろん1度に60分と言われると聞く側にとっては長く感じるかもしれませんが。しかし一般質問は基本的に年に4回しか出来ません。つまり、年間で240分しかないということです。貴重な時間であるという事を自分の胸に刻み込みこれからも登壇したいと思います。

## 質問で心掛けていること。

まずは時間内に収めることです。おおよそ1時間で終わらせるには私の場合調べたところ質問原稿と答弁を合わせて、8000文字～12000文字に収まるようにする必要があり、原稿にも冗長性を持たせながら臨んでいます。また答弁者の話す速度によっても文字数が変化するので、答弁者になる方を想定し、事前に答弁した映像を確認しながらおおよそのしゃべるスピードを計算し原稿量の調整を行うこともあります。



手作りボードの一例。SNSやTwitterの運用に関する質問時に作成したもの

そして何よりも一番大切な事は、質問した内容と市側が答えた内容が市民の皆さんに伝わる事です。そのためには、ある程度の事前の打ち合わせも必要です。また言葉だけで伝えるのが難しければ「見える」形で説明する必要があると考え、自分自身でデザインし、グラフや表や図などを作りボードを作成しています。過去の一般質問はインターネットで視聴<sup>※1</sup>できますのでぜひその点に注目していただけると幸いです。

**佐野市議会スマート中継**

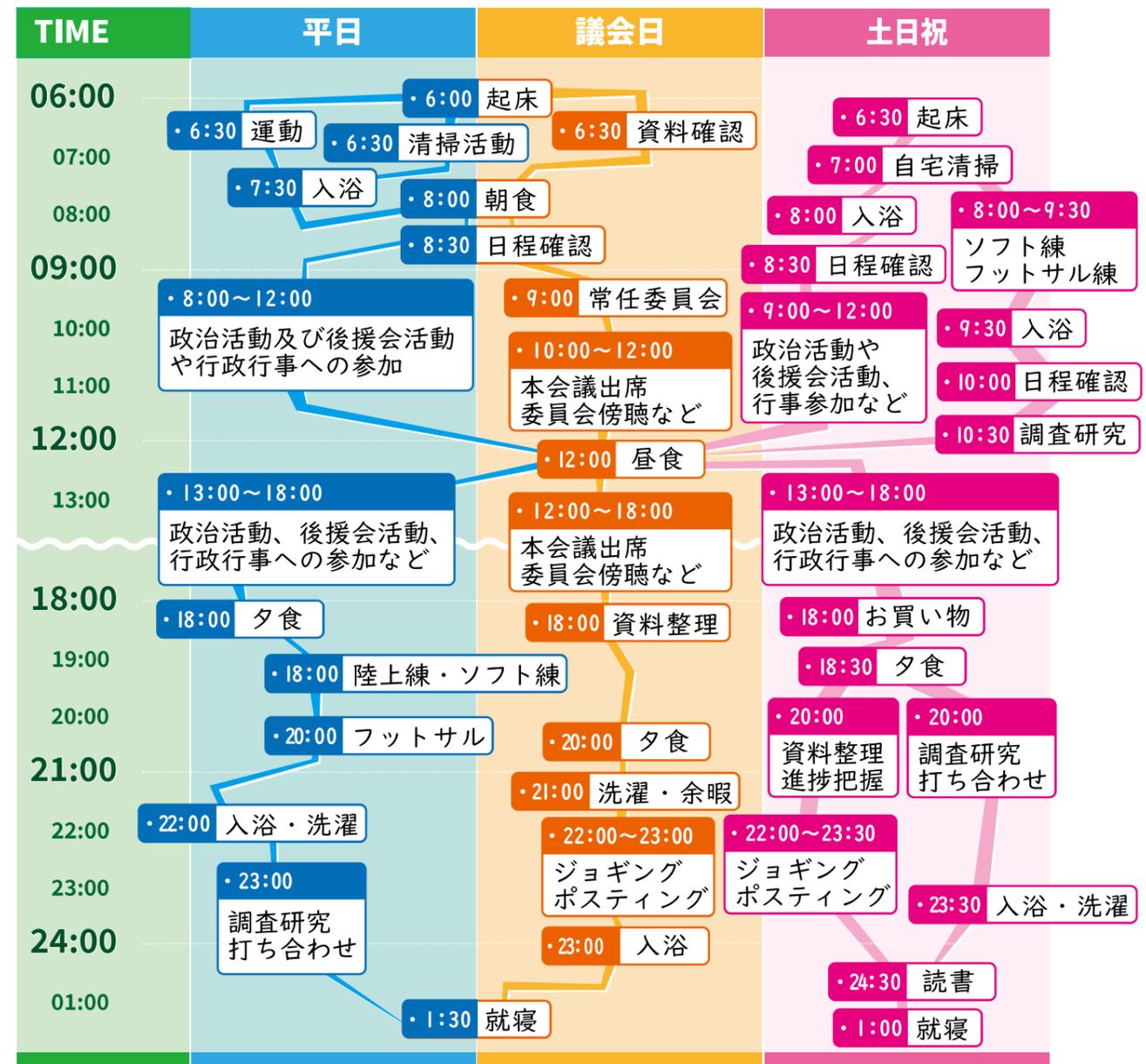
URLまたはQRコードからご覧いただけます。

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/sano/WebView/>

※1インターネットで視聴…佐野市議会ではインターネットでも議会中継を行っています。また過去の議会も見ることができます。

# 7. 議員の生活サイクル

平日、土日祝日、議会日のスケジュール公開



月間活動	回数	内容
行事参加	10回	
勉強会	2回	
党務活動	1回	
スポーツ系	14回	

議員の生活サイクルってどうなっているか気になる方もいらっしゃると思います。平日、議会が開会されている時、そして土日、祝日と簡単なスケジュールを掲載してみました。目標としているスケジュールに対して、残念ながら事情があつて体を壊してしまった為に、3年間に思い描いた政治活動、後援会活動が完璧にできずと残念な気持ちでいっぱいでした。再度同様の活動できるよう心掛けたいと思います。

もう一つ、議会活動をするためには、多くの時間を調査研究等に費やす必要などもあったこと等も理由のひとつです。(もちろん費やした分、見合うものも得ることができました。)

今後は少しずつにはなるとは思いますが、私の活動を多くの人に知ってもらえるように、より一層、後援会活動にも力を入れていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。